

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会  
平成 24 年度 第 7 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 24 年 11 月 15 日 午後 6:30～午後 8:30
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 1 3 階会議室
- 3.理事総数 13 名
- 4.出席者数 5 名（書面表決書 3 名）  
出席者（佐藤文宏、山西哲郎、保原幸夫、岩山海渡、釜崎太 敬称略）  
書面表決書（岡田英孝、鈴木良雄、近藤克之 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（10 月 18 日開催分）議事録に関する件  
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について  
議事録署名人として保原幸夫氏と岩山海渡氏が選出された。
- 第 3 号議案 各種ランニング教室について  
保原氏より、J S I E 関連の各種ランニング教室の開催状況について報告があった。
- J S I E マラソン完走教室  
毎週月曜日および水曜日とも大会シーズンに入って受講者が増加しており、本年度の延べ参加人数は 341 名となった。
- 熟年ランニングスクール  
第 2 期も今月末で終了するが 5 名の方が熱心に受講しており、全員自己ベストを更新している。
- 浦安・美走塾  
10 月 6 日に始まった第 2 回目もちょうど半分が終了しており、小学校低学年の参加者約 30 名は毎回熱心に受講している。12 月までの講師は東京学芸大出身で新宿区の小学校で非常勤講師をしている石川さん。
- 第 4 号議案 2013 アラフラゲームについて  
保原氏より、大会が無期延期になった旨説明があった。  
8 月の選挙で州政府が変わったことに伴う事業見直しで、当面開催を見送り、違った内容での開催の検討をしているとの連絡があった。今後の予定等、詳細については後日手紙が来る予定。
- 第 5 号議案 2013 市民ランナー交流セミナーについて
- 駅伝  
保原氏より、午前中開催予定の駅伝大会は「第 3 回国際交流駅伝& 5 K in TOKYO」

という大会名で、5キロレースを併設した形で行う事になった旨説明があった。  
運営は昨年同様、賛助会員であるエアラン東京に全面委託し、12月始めから募集を開始する。

#### ■セミナー

山西氏より「2013東京マラソン直前ランニング教室（仮称）」の開催趣旨と内容について、東京マラソン財団の早野事務局長宛に提出し、支援の有無等について回答待ちである旨説明があった。

支援の有無、内容について回答があり次第、パンフレット等を作成して告知活動に入るので、早急に山西氏が早野氏に確認することになった。

なお、東京マラソン財団の支援の有無にかかわらずランニング教室は実施するので、今後は並行してランニング教室の内容の具体化を進めることにした。

第1部の講演「東京マラソンの走り方は」山西氏が行う事とし。第2部のQ&A、質問コーナーは協会の関係者で行うことにしたが、具体的な進め方および人選は速やかに行うことにした。

### 第6号議案 その他

#### ■シンポジウム（「海外スポーツ交流」に考える市民スポーツの課題）開催報告

釜崎氏より10月6日(土)に開催された当該シンポジウムに関する報告があり、シンポジウムの継続および川越市でのサッカー教室開設を含めたサッカーによる交流事業の提案がなされた。

#### ■森川氏からの要望事項対応

この度、当協会にご入会頂いた市民スポーツ&文化研究所の森川氏が設立を目指していた「NPO法人アジア・スポーツツーリズム交流協会」の事業を当協会の事業として計画・実現したい旨の要望があり、当協会としては受け入れることにした。

当面、韓国ニュースポーツ協会とティボール協会との交流促進事業については推進体制等も確立しているので、速やかに実施することとし、佐藤理事長がティボール協会の理事であることも踏まえ、全面的に協力することになった。

なお、森川氏には暫定的に当協会の理事となって頂き、来年4月の役員改選時に正式に理事に就任して頂く事になった。

#### ■「第1回宜野湾ビーチサイド駅伝」視察報告

保原氏より後援事業である当該大会（10月28日(日)開催）の視察報告があった。

準備の都合で告知期間が短く、残念ながら県外からの参加はなく、駅伝の参加は20チーム、小学生、ファミリーレース参加者も50名程度と小規模の大会となった。

会場は普天間飛行場を臨む海浜公園とトロピカルビーチを周回するコースで、海水浴客の横を走り抜けるといういかにも沖縄らしい雰囲気駅伝となった。

宜野湾市制施行50周年記念行事と言うことで、市長の挨拶から始まったが堅苦しさはなく、大学生と小学生の参加が多かったことも手伝って、終始和やかな雰囲気で行われた。絆PJとして全国を回っている書道家の波多の明翠さんの書道パフォーマンスも大会盛り上げに一役買った。

協会としては本土の駅伝大会との提携等に協力し、駅伝による交流を推進したいと考える。



- 日米桜交流 100 周年記念；第 1 回「スポニチ五色桜 EKIDEN」後援の件  
保原氏より、会員の比嘉氏が企画運営する当該駅伝大会（平成 25 年 4 月 14 日(土)開催）の後援依頼があった旨報告があり、承認された。  
なお、保原氏は実行委員として参画することになった。
- 次回理事会について  
12 月 13 日(木)の 6 時半から開催することになった。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後 8 時 30 分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成 24 年 11 月 15 日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長	<u>佐藤 文宏</u>	
議事録署名人	<u>岩山 海渡</u>	
議事録署名人	<u>保原 幸夫</u>	